

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 文学国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	「月火水木金土日」 【知識及び技能】 言葉の特徴や使い方 ア 言葉には想像や心情を豊かにする働きがあることを理解すること。  【思考力、判断力、表現力等】 読む キ 設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めること。	1 「籠おばさん」の出現から別れまで、「わたし」はどう変化していったか、まとめる。 2 「籠おばさん」の話方には、どのような特徴があるか、考える。 3 雑貨屋での再会が、「籠おばさん」と話す最後の機会だとわかっていたのはなぜか、考える。	【知識・技能】 ・言葉には想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「[知識・技能の評価規準] + [思考・判断・表現の評価規準] + 「粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている」。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	「源氏物語—北山の垣間見」 【知識及び技能】 言葉の特徴や使い方 ア 言葉には想像や心情を豊かにする働きがあることを理解すること。  【思考力、判断力、表現力等】 読む キ 設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めること。	1 作中に登場する人物相互の関係を、光君（光源氏）を中心とした人物相関図に表す。 2 少女（若紫）はどのような人物として描かれているか、容姿や行動の叙述をもとにして説明する。 3 「女房」や「尼君」は、この時の暮らしに対して、どのような思いをもっているか、考えてまとめる。	【知識・技能】 ・言葉には想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「[知識・技能の評価規準] + [思考・判断・表現の評価規準] + 「粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている」。	○	○	○	14
定期考査			○	○		1	
A	「鞆」 【知識及び技能】 言葉の特徴や使い方 ウ 文学的文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めること。  【思考力、判断力、表現力等】 読む キ 設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めること。	1 「一種の消去法と言いますか、けっきょくこじかかないことがわかったわけです。」(297上・2)とはどういうことか、考える。 2 「鞆」に対する「私」の見方は、どのように変化していったか、物語の進行にそって整理する。 3 鞆の重さが、ぼくの行き先を決めてしまうのです。」(297上・15)と、「選ぶ道がなければ、迷うこともない。私は嫌になるほど自由だった。」(299下・12)という表現を手がかりにして、「鞆」とはどのようなことを示唆しているのか、考える。	【知識・技能】 ・文学的文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「[知識・技能の評価規準] + [思考・判断・表現の評価規準] + 「粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている」。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1

